

例会日:木曜日 12:30~13:30 例会場:尼崎市昭和通 2丁目7番1号 都ホテルニューアルカイク
 毎月最終例会 18:30~19:30 事務局:尼崎市昭和通 2丁目6番68号 尼崎市中小企業センター5階
 TEL 06 (6401) 7573 FAX 06 (6401) 7590
 http://www.amagasaki-southrc.com E-mail amasrc@amagasaki-southrc.com
 会長 松田高基 幹事 小島成介 広報委員長 與那嶺まり子



VOL.27 No. 45 2013-2014

Today's program	Next program
6月12日 (第1255回例会) 「クラブアッセンブリー」	6月19日 「クラブアッセンブリー」

前回(6月5日)の報告

1. ソング

国家「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

2. ビジター紹介

なし

3. 会長の時間

皆さんのなかには、すでに事業の継承を終えられた方もいらっしゃると思いますが、まだまだこれからという方も沢山いらっしゃるのではないのでしょうか？

会社組織であれば例えば、子供に継承する場合は、早くから計画的にひとつひとつ時間をかけて教えていけば良いのですが、もし「芸術家」や「職人」と呼ばれるような人の場合、個性や感性が技術に大きく関わり、子供が同じ仕事をする事になれば、ライバル関係になってしまいます。過去に女性が一人もやったことのない仕事であって、その仕事を自分の娘がやりたいと言ったとき、父親はどのように思い、どのように行動をし、結果はどうなったのか？

父親として非常に興味のあるケースです。

東北六魂祭のひとつである「青森ねぶた祭」の「ねぶた」創りでは「平成の名人」と呼ばれている「大型ねぶた師」を父に持つ、現在29歳の女性が、小さい頃から父親の「ねぶた」を創る背中を見て育ち、父親が珍しく会心の笑みを浮かべた勇壮なねぶたに灯がともったとき、その出来栄に衝撃を受け、どうしてもねぶた師になりたくりました。

父親は常々、「ねぶたには荒々しく男性的な表現が求められる」ことや、「骨組みを作る制作過程で、釘を打つなどの大工的な作業が多い」ことから「女性にはねぶたは創れない」と娘のことは相手にしなかったのです。もし自分が男だったら、父親も他のスタッフも喜んで教えてくれただろうと悔しい思いをしました。

弟子入りを志願しても断られるに違いないと、休日には作業場に行き、父親が他のスタッフに出す指示をすべてメモをとり、下絵の練習を重ね、着実に父親の信頼を勝ち取っていきました。

そして独り立ちには最低10年という世界で、父親に弟子入り後僅か4年でスポンサーからオファーがあり、一昨年本格デビューをしたのです。

初めての女性「大型ねぶた師」でありながら、正面には男顔負けの勇壮な武将を描き、見返りの部分には男では表現できない女性の感性で、優しい女性と可愛い子供を描き、今までに無い斬新な「ねぶた」だと注目を浴びました。

結果、デビュー作でありながら、優秀制作者賞を受賞し、同じスポンサーから続けて今年のオファーも受けました。

しかし運命の悪戯がありました。毎年、優秀制作者賞を受賞していた、「平成の名人」と呼ばれていた父親の作品が落選してしまいました。世代交代という言葉で済ませてしまうにはあまりにもタイミングが悪く、娘としては手放しで喜べない複雑な気持ちだったのではと考えてしまいます。

それでも、自分の作品の落選の悔しさより、娘が「大型ねぶた師」として認められ、優秀制作者賞を受賞したことのほうが、父親としては何倍も嬉しかったのではないのでしょうか？



今月のお祝い

The Rotary Club Of Amagasaki South
 Rotary Club International Dist.2680



基本に帰ろう

2013-2014 会長方針

2013-2014年度 会長 松田高基

Engage Rotary, Change Lives

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014 国際ロータリー会長

Ron.D.Burton ロン.D.バートン



